

## 学 会 録 事

### 1. 評議員会報告

昭和50年4月2日に東京水産大学水産資料館で評議員会を開催しました。

出席者 評議員：増田道夫，秋山和夫，加崎英男，片田 実，小林 弘，喜田和四郎  
谷口森俊，広瀬弘幸

会 長：西沢一俊

幹 事：山岸高旺，千原光雄，有賀祐勝，渡辺真之，原 慶明，猪川倫好

評議員会は例年総会の前に開催されていましたが，今回は会長，評議員，幹事が改選・交替したこと，会計年度制の変更に伴う移行措置が必要なこと，従前からの懸案事項があることなどのために，とくに開催しましたが，次の様な事項について審議承認されました。なお，これらについては今秋の総会に提案し，ご審議を頂くこととなります。

- (1) 会計監事として岩本康三氏（東水大）と古谷庫三氏（東学大）を選任。
- (2) 年度予算は「次年度の予算案を総会に提出する」方式をとる。
- (3) 昭和49年度（49・4～49・12）決算報告。
- (4) 昭和50年度（50・1～50・3）会計中間報告（49・9・3。総会決議の暫定予算関係分）。
- (5) 昭和50年度（50・4～50・12）予算案 予算案は従来方式では秋の総会に提出することになっていますが，会計年度制変更の移行措置として，50年度分についてとくに審議頂き，それに基づいて事業を進めることが承認されました。
- (6) 昭和51年度予算案と会費の値上について。
- (7) 賛助会員と団体会員の新設。
- (8) 編集委員会制については学会誌（「藻類」の編集・刊行のために編集委員会を置く。編集委員会の構成，運営などについては別に定める内規による）の一項を会則に加える。  
これについての内規はさらに検討する。
- (9) 学会誌「藻類」の編集方針 従来の基本方針に沿って編集し，更に内容の充実をはかるために研究ノート（研究成果の短報，国際会議紹介，報告など），藻類分布資料（分布資料の他に他誌に発表された新種や新産地の要約，リストなど），藻類採集地案内，新刊紹介などの欄を新設または充実させる。裏表紙に欧文の目次を入れることなどが承認されました。
- (10) バックナンバー，索引の価格。
- (11) 山田幸男博士の喜寿（昭和52年8月）を記念して「藻類」の「山田幸男博士喜寿

記念号」を発刊する。発刊事業計画の具体案については持ち廻り評議員会で検討する。

(12) 名与会員の推せん候補者は「会長経験者で満70才以上の方」とし、今回は時田郁氏を推せんする。

(13) 今秋の植物学会でのシンポジウムについては加崎英男氏が中心となって計画をすすめ、関係方面との交渉を進める。

(14) その他庶務・会計などの報告。

## 2. 懇談会報告

昭和50年度日本水産学会年会を期に、昭和50年4月20日午後6時から、東京水産大学水産資源研究施設会議室において、恒例の本学会懇談会が開催されました。参加者は前会長中村義輝氏、新会長西沢一俊氏ほか40名で近来にない盛会でした。

会是有賀祐勝氏の司会で進められ、前会長、新会長の挨拶のあと乾杯、懇談に入りました。例年の様に全員の自己紹介をかねたスピーチが終ってから広瀬弘幸氏の「英国バンゴールで開催された第8回国際海藻学会議に参加して」と題する講演をスライドを觀賞しながら拝聴しました。北から南から参会された方々のお話し合いもつきませんでした。名残りを惜しみつつ8時半閉会しました。終りに、懇談会の開催にあたっていろいろとご尽力頂いた東京水産大学の岩本、片田、三浦、庵谷の諸氏に学会として心からお礼を申し上げます。

## 3. 持廻り評議員会報告

4月2日の評議員会に引続き、持廻り評議員会（4月28日付）を開催し、編集委員会制の件と山田幸男博士記念号の発刊について審議の結果、次の様に決定致しました。

(1) 編集委員会制の内規について。

編集委員会内規

1. 編集委員会は編集委員長1名、編集委員若干名、編集幹事若干名をもって構成する。
  2. 編集委員長、編集委員、編集幹事は会長がこれを指名委嘱する。任期はそれぞれ2年とし、重任することができる。
  3. 編集委員長は編集委員会を代表し、「藻類」の編集、刊行に関する責任を負う。
  4. 編集委員は投稿された原稿の審査に当たるとともに、「藻類」の編集、刊行に関する事項を審議する。
  5. 編集幹事は「藻類」の編集、刊行に関する業務に当る。
- (2) 山田幸男博士喜寿記念号の発刊について。

山田幸男博士が昭和52年8月に満77才の喜寿を迎えられる日を機会に記念号を発刊する計画が承認されました。これについては更に具体的に準備を進め、秋の総会に計画案

を提出致します。

#### 4. 編集委員会について

前記の様に編集委員会内規が制定されましたが、「藻類」の編集、刊行について編集委員会制をとることは、既に20回総会において決定され、21回、22回総会においてもその実現について討議されておりますので、会長から次の7名の方に委員を委嘱し、23巻2号から委員会を発足させました。

編集委員長	千原光雄	(筑波大・生物)		
編集委員	秋山優	(島根大・教育)	新崎盛敏	(日大・農獣医)
	広瀬弘幸	(神戸大・理)	今堀宏三	(大阪大・教養)
	黒木宗尚	(北大・理)	館脇正和	(北大・海藻研)

---

#### Symposium on Fossil Algae のお知らせ

1975年10月6日より10日までドイツの Erlangen で表記のシンポジウムがあります。詳細は下記にお問合せ下さい。

Prof. Dr. Erik Flügel  
 Universität Erlangen-Nürnberg  
 Institut für Paläontologie  
 Loewenichstrasse 28, D-8520 Erlangen  
 Bundesrepublik Deutschland

なお、シンポジウムの前後にドイツおよびオーストリアのエクスカージョンがあります。

(今泉力蔵)